

信篤(SHINTOKU)

いちかわ

市川市議会議員 **松永おさみ**
後援会だより 第17号

事務所/原木1-22-16 電話・FAX 047-327-1470

www.matsunaga-0.net

六月会

高齢者福祉のあり方 幼稚園教育の展望を質す！

市川市議会六月定例会は、六月七日から二十二日迄の十六日間にわたり開会されました。市長から提出された議案は、住民から要求のあった直接請求による「市川市平和無防備条例の制定について」他十二案と諮問三件、報告十四件でありました。審議の結果は、平和無防備条例のみ否決、あとは原案の通り可決又は承認されました。松永おさみ市議は、十九日に一般質問を行いましたので、その概要を以下お知らせ致します。

高齢者にもっと暖かい配慮を！

質問「六十五才以上の老年人口は、約六万三千人弱で構成比十三・五%を占め、〇才〜十四才迄の年少人口十三・三%とほぼ匹敵している。市長は「活動的な八十五才」を実現する為、各種施策の充実に努めるとのことだが、健康の維持増進策をどうすすめるのか」

答弁「本年度老人保健福祉計画と介護保険事業計画の改定を行い、高齢期になっても健康で生きがいを持って、各施策の展開を図っていく。具体的には、いきいき教室、エンジョイはつらつシニア教室など状況に即して運営を考へる。又、軽スポーツ等高齢者の大会も開催する。グラウンドゴルフ大会(年三回)、輪投げ大会、ボールゴルフ大会(二回)、レクボウ、マッサーボール等々」

質問「はりきゅう、マッサーボール等々の内容変更について、①制度を変更した経緯理由はなにか、②所得制限を設けたのはなぜか、影響額は」

答弁「③船橋市との相互利用はできないのか。影響額は」

答弁「①市単独事業の結果六十五才以上の方々への一

律支給をやめ対象者を市民税個人非課税者としたもの、そして助成額を一回八百円を千円に引き上げた。

②このサービスを受けられなくなった高齢者は一、一七二人で予算として五百三十万円減り十八年度は四千二百三十万円強となった

③船橋市に申し入れをしたが、応じて貰えなかった。利用者には不便をおかけするが、市内の施設所を利用して欲しい。

※この度の内容変更によって、市民税の課税者との非課税者との大きな差が生じているので、この解消と船橋市も利用できるよう引き続き対応されるよう、又軽スポーツ用具の貸出し

について実現するよう、強く申し入れた。入場料等にシルバークレジットの導入について

質問「文化会館では、一部高齢者特別割引を行っているが、今後回数券や定期券の導入も含め実現に向け研究検討してまいりたい。」

答弁「

幼稚園教育の現状と展望について

質問「平成十八年度の入園状況からみた現状分析と課題は」

答弁「約八割の子供達が私立、約二割が公立幼稚園に入園している。入園率の低い二侯・稲荷木に合台について、将来的にも増加が見込めない。近々の幼児教育の動きを見ますと、幼稚園の視点からは、総合的に考える時代になったことからは、公立・私立幼稚園の役割を今一度検討し、その中で公立幼稚園の継続是非についても検討したい。」

質問「公立幼稚園の保育料は、額を決定する基準は」

答弁「公立幼稚園の保育料は、額を決定する基準は、国の幼稚園の保育料の水準を参考に、市の財政状況等を考慮して決定している。」

質問「公立幼稚園の保育料は、額を決定する基準は」

答弁「公立幼稚園の保育料は、額を決定する基準は、国の幼稚園の保育料の水準を参考に、市の財政状況等を考慮して決定している。」

※又公立の保育料についても、応分の負担を頂くことも必要と考える。幼児教育振興審議会の意見をいただくながら、保育料の検討を進めている。保育料の第三子以降の無料化に伴う幼稚園児童との不公平解消の考え方は、

質問「幼稚園児においても出来るだけ早い時期に、第三子以降に支援制度が設けられるよう努力したい。※各家庭で子育てをしている保護者にはその恩恵が及ばないので、あまねく公平に子育てを支援するためにも、所得制限をはずして支給するよう強く要望を申し上げた。」

質問「ドッグランの現状と課題について」

答弁「昨年十二月開設の二俣は、五月末で二、三、七、八、九人の利用。塩浜は本年三月末に開設で五、九、八頭、九、一、八人の利用。利用平均は、平日で二俣・塩浜共七頭、土曜・休日は二俣三九頭塩浜二頭で概ね見込みどおりの利用となっている。施設整備費は、二俣が七二二万円、塩浜が約四九十万円。管理費は両方も約一六六万円相談業務として一しつけ方教室一飼い方等の相談も多い。質問「ドッグラン利用者に、受益者負担として実費徴収をお願ひできないか。又施設の増設の考えは」

答弁「現状では、無料で開放している。新たな施設の建設は難しいと考える。」

道交法改正に伴う駐車違反

取締り強化に伴う諸問題について

質問「駐車監視員の数、取り締まり重点地域等は、実績数値は」

答弁「市川署管内で四人(二組)行徳署管内は六人(三組)最重点地域として市川署管内では市川駅・本八幡駅周辺、重点地域としては大野駅である。六月十五日迄の半月間の市川署内の取り締まり件数では、駐車監視員によるものが八九件、警察官によるものが一七件、警告書の交付が二〇七件にのぼっている。」

質問「駐車取り締まりの強化で影響を受けている介護タ

クシー(市内で五一台あり)を駐車除外対象となるよう、県公安委員会に働きかけること是非は」

答弁「緊急車両については駐車除外と認められているが介護タクシーは別途申請して許可を受けねばならない。福祉関係車両については警察等の指導を要請してみたいと考える。」

※駐車車両に起因する人身事故は、昨年県内で二九二件発生し、死亡事故は八件あった。又駐車場関係の一一〇番通報は、年間二万三千件もあり現下の警察力では追いつけない状況との情報もあります。」

信篤小 放課後児童クラブ

八月一日 新教室開設

待機児童が多く、増員が待たれた信篤小の放課後児童クラブ教室の新設工事が進み、八月一日には新しい教室で開設される予定です。定員は百四十人と百人増です。

ねぎぼうず祭り

子供会育成会主催の「ねぎぼうず祭り」が今年も開催されます。ぜひご参加下さい。

八月二十五日(土) 午後四時から 高谷中校庭

お楽しみ 落語寄席

地元信篤小・高谷中出身の若手落語家 真打 古今亭菊之丞師匠をお招きして「松栄会」主催の落語を楽しむ会を開きます。是非お運び下さい。

期日 九月二十九日(金) 午後二時～四時

場所 原木自治会館 木戸銭千円

申込みは松栄会役員又は松永おさみ事務所へ 先着百名様



ご一緒にまちづくりを!

会員の皆様、地域の皆様その後お変わりなくお過ごしのことと存じます。市川市議 松永おさみも元気で公務に取組んでおります。平成十八年度も、先の会報でお知らせした地元関連予算の執行に遺漏なきよう、万全を期す所存でございます。又皆さんの身の回りのこと何でもお気軽にご相談下さい。皆さんと共に明るい地域の環境づくりに邁進してまいります。よろしくご支援の程お願い申し上げます。